

東日本大震災復興支援 「とどけよう スポーツの力を東北へ！」  
第 36 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会実施要項

## **1 趣旨**

団員に競技の喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、軟式野球を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する。

## **2 主催**

公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団  
公益財団法人全日本軟式野球連盟  
公益財団法人北海道体育協会 北海道スポーツ少年団  
北海道軟式野球連盟  
公益財団法人旭川市体育協会 旭川市スポーツ少年団  
旭川軟式野球連盟

## **3 主管**

全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道実行委員会

## **4 支援**

独立行政法人日本スポーツ振興センター

## **5 後援 (申請中)**

文部科学省 読売新聞社 北海道 旭川市 比布町

## **6 協賛 (予定)**

大塚製薬株式会社

## **7 協力 (予定)**

公益財団法人スポーツ安全協会  
読売巨人軍

## **8 期日**

平成 26 年 8 月 8 日 (金) ~ 11 日 (月) 4 日間

## **9 会場 (試合会場・宿舎)**

【開閉会式会場】スタルヒン球場(旭川市花咲スポーツ公園硬式野球場)  
雨天の場合は、旭川市総合体育館で行う(旭川市花咲町 5 丁目)  
(スタルヒン球場より徒歩 5 分)

【試合会場】スタルヒン球場 旭川ドリームスタジアム 東光サブ軟式野球場 ぴっぷ球場

【宿 舎】旭川トーヨーホテル

旭川市 7 条 7 丁目右 1 号 TEL 0166-22-7575

## **10 参加資格**

### (1) 指導者

平成 26 年度スポーツ少年団登録をしている指導者で、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者

### (2) 団員

下記の条件を満たす者で、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者

- ① 平成 26 年度スポーツ少年団登録をしている平成 26 年 4 月 1 日現在小学校 4・5・6 年生の団員
  - ② 集団生活に際し、規則正しい行動のとれる者
  - ③ 大会日程に耐えられる健康な心身の持ち主で、大会参加に支障がない者
  - ④ 保護者に大会参加の承諾を得た上、通学校長に大会参加の届出を行った者
- (3) 高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会に参加申込みをしている単位団とその構成員の出場は認めない。

### **1.1 参加者及びチーム編成**

- (1) 指導者は代表指導者 1 名、引率指導者 1 名の計 2 名とし、2 名のうち少なくとも 1 名はスポーツ少年団認定育成員又は認定員の有資格者であること。
- (2) 団員は、小学校 4・5・6 年生の計 14 名。  
なお、団員・指導者とも同一の単位団所属であること。
- (3) 大会参加者は、大会主催者の指定する宿舎に宿泊し、勝敗に関係なく全日程に参加する。また、大会期間中における指導者の交代については、特別な事情があり、かつ、主催者が認めた場合に限り可能とする。

### **1.2 参加チーム数とその選出**

(1) 参加チーム数            16 チーム (1 チーム 16 名)            計 256 名

(2) 各ブロックの参加チームは次の通りとする。

・北海道	1 チーム	・東北	2 チーム
・関東	2 チーム	・北信越	1 チーム
・東海	2 チーム	・近畿	2 チーム
・中国	2 チーム	・四国	1 チーム
・九州	2 チーム	・開催地	1 チーム

(3) 参加チームの選出にあたっては、各ブロック内において、協議を行い実施すること。なお大会開催都道府県は、開催都道府県代表として 1 チームのほか、所属ブロック内での選考等により、所属ブロック代表チームを選出することができる。

### **1.3 大会日程**

概ね別記日程表による。ただし、雨天の場合は、基本練習、交歓交流会他のスポーツ活動などを行う。また、降雨等により全試合が消化できない場合は、最終日の時点における成績で順位を決定する。

### **1.4 試合方法**

トーナメント方式とするが、3 位決定戦は行わない。

なお、準々決勝、準決勝まで進めなかったチームは、第 2 日目に北海道内 8 チームと、第 3 日目には参加チーム同士でそれぞれ交流試合を行う。

### **1.5 組み合わせ抽選**

組み合わせは、「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道実行委員会」の責任において行う。

### **1.6 競技ルール**

平成 26 年度の「公認野球規則」及び「公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携／学童野球に関する事項」による。ただし、別に示す「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会競技規則及び取決め事項」はこれを適用する。

### **1.7 試合球**

公益財団法人全日本軟式野球連盟公認 CC 号球を使用する。

## 18 参加申込書

- (1) 各都道府県スポーツ少年団は、参加者を同本部長名にて申し込むこと。
- (2) 参加申込者は、所定の申込書を2部作成し、**7月17日(木)**までに各1部を下記宛に送付すること。

①正 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2222 / Fax 03-3481-2284

②副 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 北海道実行委員会

〒062-8572 北海道札幌市豊平区豊平 5条 11-1-1

北海道立総合体育センター気付 北海道スポーツ少年団内

TEL 011-820-1706 / Fax 011-833-0705

## 19 表彰

- (1) 優勝チームには、賞状、優勝旗（持ち回り）、優勝杯（持ち回り）、賞品（楯・メダル等）を授与する。なお、優勝杯レプリカは、次回大会開会式時に授与する。
- (2) 第2位（1チーム）、第3位（2チーム）には、賞状、賞品（楯・メダル等）を授与する。
- (3) 特に敢闘を認められるチームには、賞状、賞品（楯等）を授与する。
- (4) 参加全チームに参加証を授与する。

## 20 傷害保険

大会期間中(前日、翌日の移動日を含む) 公益財団法人日本体育協会は、開催基準要項に基づき、参加者全員を被保険者とした傷害保険に加入する。

(1) 支払われる保険金

①死亡保険金 200万円

②後遺障害保険金 後遺障害の程度に応じて6万円～200万円

③入院保険金 日額 3,000円 (180日限度)

④通院保険金 日額 2,000円 (90日限度)

(2) 保険金の支払いについては、事故による傷害が対象となり疾病は対象とならない。事故による傷害の場合、その治療費は被保険者本人が治療完治するまで払い、その後本人が所定の保険金請求手続きを行うことにより保険金が支払われる。なお、その他保険金支払いにかかる詳細については、傷害保険普通保険約款および国内旅行保険金特約条項による。

## 21 携行品

(1) 団体携行品

日本スポーツ少年団が交付した行進用の都道府県スポーツ少年団旗一式

(2) 個人携行品

① 軟式野球用具一式

② 大会期間中の生活用品など

③ 常備薬、健康保険証またはそのコピー

④ 体育館シューズ（野球教室：雨天時使用）

⑤ 記念品は、1人500円程度の品物（チームで統一した記念品）を持参すること。

なお、記念品の交換は8月10日に行う交歓交流会にて行う。

## 2.2 集合・解散

### (1) 集合

参加者は、指導者が引率の上、8月8日（金）8時30分までに「スタルヒン球場（旭川市花咲スポーツ公園硬式野球場）」へ集合し受付を済ませること。

なお、8時30分から監督主将会議を「スタルヒン球場（旭川市花咲スポーツ公園硬式野球場）」内の会議室で行う。

### (2) 解散

8月11日（月）閉会式終了後、スタルヒン球場（旭川市花咲スポーツ公園硬式野球場）にて解散

この事業は、政府からの出資金とスポーツ振興基金支援企業グループからの寄付金を原資とする運用益によるスポーツ振興基金の助成を受け実施します。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆